

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-26989

(43) 公開日 平成8年(1996)1月30日

(51) Int.Cl. ⁶ A61K 31/34	識別記号 ABF	FI	技術表示箇所
A23L 1/30 // C07D493/04	B 101 C		

審査請求 未請求 請求項の数 14 0L (全12頁)

(21) 出願番号	特願平7-104209	(71) 出願人	000001904
(22) 出願日	平成7年(1995)4月27日		サントリー株式会社
(31) 優先権主張番号	特願平6-98798		大阪府 大阪市北区堂島浜2丁目1番40号
(32) 優先日	平6(1994)5月12日	(72) 発明者	秋元 健吾
(33) 優先権主張国	日本 (JP)		大阪府 三島郡島本町山崎1-9-5-1006
		(72) 発明者	菅野 道廣
			福岡県 福岡市東区名島5-38-23
		(72) 発明者	山田 耕路
			福岡県 福岡市東区和白東1-20-12-508
		(72) 発明者	野中 美智子
			福岡県 粕屋郡志免町志免1478
		(72) 発明者	顧 じゅん 炎
			福岡県 福岡市東区名島3-19-647
		(74) 代理人	弁理士 石田 敬 (外3名)

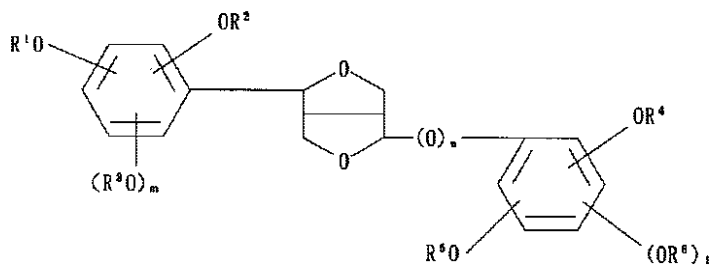
(54) 【発明の名称】 アレルギー症状の予防又は改善剤

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 新しいタイプの、アレルギー症状の予防又は

改善剤を提供する。

【構成】 下記式 (I) :



(式中、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、及びR⁶はそれぞれ独立に水素原子又は炭素数1~3のアルキル基であり、あるいはR¹とR²、及び/又はR⁴とR⁵は一緒になってメチレン基もしくはエチレン基を表し、そしてn、m、及び1は0又は1を表す)で表わされるジオキサピシクロ[3.3.0]オクタン誘導体を有効成分

として含有することを特徴とするアレルギー症状の予防又は改善剤。また前記ジオキサピシクロ[3.3.0]オクタン誘導体とともに抗酸化剤を有効成分として含有することを特徴とするアレルギー症状の予防又は改善剤。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-246427

(43) 公開日 平成11年(1999)9月14日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	FI	技術表示箇所
A61K 35/78	ADP	A61K 35/78	ADP C
A23L 1/30		A23L 1/30	B
A61K 31/36		A61K 31/36	
35/78	ADN	35/78	ADN
// C07D317/64		C07D317/64	

審査請求 有 請求項の数 4 0L (全7頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平10-52097	(71) 出願人	596170550 かどや製油株式会社 東京都品川区西五反田8-2-8
(22) 出願日	平成10年(1998)3月4日	(71) 出願人	591128729 農林水産省四国農業試験場長 香川県善通寺市仙遊町1丁目3番1号
		(72) 発明者	関谷 敬三 香川県善通寺市文京町2-2-17-402
		(72) 発明者	井藤 龍平 香川県小豆郡土庄町伊喜末1798-1
		(72) 発明者	関 圭吾 香川県小豆郡土庄町湊崎甲569-1
		(74) 代理人	弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

(54) 【発明の名称】糖・脂質代謝活性化剤

(57) 【要約】

【課題】 糖代謝および脂質代謝の活性化を、食品由来の安全な成分により促進すること、即ち、食品に含有される成分を用いることにより糖代謝および脂質代謝の活性を促進すること。

【解決手段】 脱脂胡麻から抽出されたメタノール可溶で且つ1-ブタノール可溶の画分である糖および脂質代謝活性化剤。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-183172

(P2003-183172A)

(43) 公開日 平成15年7月3日(2003.7.3)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テームト [*] (参考)
A61K 35/78		A61K 35/78	C	4C086
31/36		31/36		4C088
A61P 25/06		A61P 25/06		

審査請求 未請求 請求項の数 13 0L (全7頁)

(21) 出願番号	特願 2001-383946(P2001-383946)	(71) 出願人	000210654 竹本油脂株式会社 愛知県蒲郡市港町2番5号
(22) 出願日	平成 13年12月18日(2001.12.18)	(72) 発明者	稲吉 正紀 愛知県蒲郡市港町2番5号 竹本油脂株式会社内
		(74) 代理人	100081798 弁理士 入山 宏正
		Fターム(参考)	4C086 AA01 AA02 BA13 CA01 MA52 NA14 ZB08 4C088 AB12 BA08 MA52 NA14 ZA08

(54) 【発明の名称】片頭痛の抑制乃至予防治療用経口投与剤

(57) 【要約】

【課題】天然物由来の安全性に懸念のない新たな片頭痛の抑制乃至予防治療用経口投与剤を提供する。

【解決手段】ゴマ種子由来のセサミン類を有効成分とした。

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-192562
(P2003-192562A)

(43) 公開日 平成15年7月9日 (2003.7.9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード (参考)
A61K 7/48		A61K 7/48	4C083
7/00		7/00	K

審査請求 未請求 請求項の数 13 0L (全11頁)

(21) 出願番号 特願 2001-393023 (P2001-393023)
(22) 出願日 平成 13年12月26日 (2001.12.26)

(71) 出願人 000210654
竹本油脂株式会社
愛知県蒲郡市港町2番5号
(72) 発明者 稲吉 正紀
愛知県蒲郡市港町2番5号 竹本油脂株
式会社内
(74) 代理人 100081798
弁理士 入山 宏正

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】化粧品

(57) 【要約】

【課題】天然物由来の成分を有効成分とし、したがって安全性に懸念が無く、肌荒れの改善や皮膚の老化防止に優れた効果を発揮し、しかもその効果にバラツキが無い新たな化粧料を提供する。

【解決手段】ゴマ種子由来のセサミン類を有効成分とした。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-202903

(43) 公開日 平成16年7月22日(2004.7.22)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テラコード [*] (参考)
B41M 5/00		B41M 5/00	B	2C056
B41J 2/01		B41J 3/04	101Y	2H086

請求項の数 8 審査請求 未請求 0L (全12頁)

(21) 出願番号	2002375863	(71) 出願人	000208743 キヤノンファインテック株式会社 茨城県水海道市坂手町5540-11
(22) 出願日	平成14年12月26日(2002.12.26)	(74) 代理人	100077698 【弁理士】 吉田 勝広
		(74) 代理人	100098707 【弁理士】 近藤 利英子
		(74) 代理人	100107788 【弁理士】 吉田 広志
		(72) 発明者	垣平 洋 東京都三鷹市下連雀6丁目3番3号 コピ ア株式会社内
		(72) 発明者	筒井 喬紘 東京都三鷹市下連雀6丁目3番3号 コピ ア株式会社内

(54) 【発明の名称】 被記録媒体

最終頁に続く

(57) 【要約】

【課題】 大気中の酸性ガス及び光による画像の退色や変色を効果的に防止した、長期保存に好適な被記録媒体を提供すること。

【解決手段】 支持体の少なくとも一方の面に、少なくとも1層のインク受理層を有する被記録媒体において、該インク受理層が、アルミナ水和物、水溶性樹脂及び/又は水分散性樹脂、及びゴマリグナン類を含有することを特徴とする被記録媒体。

【選択図】 なし